

2023/08/24開催 いけんひろば
～農林水産省に行ってみよう！～

報告資料

開催概要

テーマ	農林水産省に行ってみよう！
担当省庁	農林水産省
開催日時	令和5年8月24日（木）10:00～12:00ごろ
開催場所	東京都千代田区霞が関1丁目2-1 農林水産省北別館 （消費者の部屋）
参加対象者	ぷらすメンバーのうち 中学生～高校生世代
参加人数／グループ数	17名／3グループ
主なヒアリング内容 （詳細は次ページ）	<ul style="list-style-type: none"> • どういう展示だと見に行ってみたいですか？ • どういう説明だと聞いていて飽きないですか？ • 実際に学校訪問を体験してみて、他にやってみたかったことについて意見を聴かせてください！ • 「こんな情報発信をすると意識や行動が変わるんじゃないか」というアイデアを聴かせてください！ <p style="text-align: right;">など</p>

ヒアリング内容の詳細

#	項目	ヒアリング内容
1	消費者の部屋展示の手法	<ul style="list-style-type: none"> • どういう展示だと見に行ってみたいですか？ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 実際に展示を見てみて、みなさんの世代が「こんな展示だったらいいな」と思うような展示手法について、意見を聴かせてください！ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 例えば、分かりやすく興味を惹かれる展示手法は〇〇、自分の行動を見直すような説得力のある展示手法は〇〇 など ✓ 逆に、「この展示の仕方だと見ててつまらない」と思ったことがあれば、ぜひ教えてください！
2	農林水産省の業務説明の手法	<ul style="list-style-type: none"> • どういう説明だと聞いていて飽きないですか？ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 実際に説明を聞いてみて、「〇〇みたいな説明の仕方はよかった(こうすればもっとよくなる)」と思ったことがあれば、ぜひ教えてください！ ✓ 普段通っている学校で、授業が楽しい先生の説明の仕方などを参考にして、意見を聴かせてください！
3	学校訪問で体験したかったこと	<ul style="list-style-type: none"> • 実際に学校訪問を体験してみて、他にやってみたかったことについて意見を聴かせてください！
4	農林水産省の取組 (展示内容関連)	<ul style="list-style-type: none"> • 以下のようなロゴマークの取組以外に「こんな情報発信をすると意識や行動が変わるんじゃないか」というアイデアを聴かせてください！ <ul style="list-style-type: none"> ✓ みなさんが来訪する期間は、林野庁がとりまとめている「森林・林業白書」について、展示を実施しています ✓ 林野庁では「ウッド・チェンジロゴマーク（木材利用の取組を積極的に推進していることを示すマーク）」を企業などに活用してもらうことで、ウッド・チェンジの趣旨を広く消費者に認知してもらい、みなさんの生活に木をもっと取り入れてもらう動きを促進しています

目次

1. 「消費者の部屋」の展示手法について
2. 農林水産省の業務説明について
 - ①内容
 - ②手法
3. 学校訪問で体験したかったことについて
4. 農林水産省の取組（展示内容関連）について
 - ①広報
 - ②意識や行動が変わる情報発信



いけんひろば開催日には
「本の森に出かけよう ～森のめぐみと白書の知識、山の仕事～」
をテーマに展示しました。



資料についての補足

各意見について、カッコ書きで該当の意見がでていたグループの構成年代を掲載しています。

本いけんひろばでは参加者を以下の3つのグループに分け、意見交換を行いました。

- Aグループ：中学1年生～中学2年生／6人
- Bグループ：中学3年生～高校1年生／5人
- Cグループ：高校2年生～高校3年生／6人

入しやすい展示

- 消費者の部屋は一般開放しているとのことだが、**入りづらい印象**。一般開放している旨をもっと分かりやすく示したほうが良いと思う。(高校生)
- **第一印象で興味を持ってもらえるように**、はく製等の普段目に触れないものや立体的な物を入り口付近や部屋全体に設置したらいいと思う。(中学生)
- 今日は少し展示室に入るぞと**身構えた**ので、**音や風、においなどで展示テーマに合った雰囲気を入り口で感じられる**方が良い。(中学生～高校生)
- **漫画が最初**にあった方が、引き止められると思う。(中学生～高校生)
- 入ったところに**まず白書があり、難しいイメージ**があった。入口が大切なので、改善した方が良いと思う。(中学生～高校生)
- **白書を最初に置いておく**のもありだと思う。簡単なものだけ先に置くと「もう終わった」と思ってしまう。ストーリーのように、導入→面白い内容という流れにするのであれば、白書→漫画があるという形でも良いと思う。(中学生～高校生)

見る人に配慮された展示

- 白書については、小学生も来るのであれば**フリガナを振ったほうが良い**と思った。(高校生)
- 棚に置いてあった本(白書)を**見てほしいページを開いた状態**で置いておく。(中学生)
- 難しい用語を使って説明する時には、**もう少しゆっくり大きな声**で話したり、**用語の説明**を入れたりしてほしい。(中学生)
- もっと色々な人に楽しんでもらうために、いろいろな手法があればよいと思う。例えば、**ガイダンスなどの音声を活用**すれば、目の見えない人にも楽しんでもらえるようになると思う。(中学生)
- 映像に字幕を付けてくれれば若者に親しみがある**人工ボイス**が使える。ゆっくりとした実況や、アニメの声を使った映像の方が良い。そういった声も使った方が、若者に映像の情報が入っていきやすいと思う。(中学生～高校生)
- **タッチパネルを使った展示**も良いと思う。最近の新しい駅では、タッチパネルで案内があるところがある。質問などを並べて、ボタンを押したら読み上げてくれるなどのサービスがあっても良いと思った。(中学生～高校生)

空間として楽しめる展示

- 展示室という形よりも、**空間として見せる**ことも大事だと思う。(中学生～高校生)
- **フォトスポット**的なものもあれば良いと思った。思い出せる、写真を撮れる場所は大事だと思う。(中学生～高校生)
- **テーマパークのように空間として楽しめる**展示だと楽しいと思う。(中学生～高校生)
- **レイアウトは変えた方が良い**と思う。空間として入っていけるように、**ストーリー仕立てのような感じ**にするのも良いと思う。(中学生～高校生)
- 展示しているパネルの内容で**クイズラリー**をしてもらえば、もっとパネルをしっかりと見てもらえるようになると思う。(中学生)





内容が分かりやすい展示

- 白書のパネルを資料集のように**グラフや写真が多め**で、補足として文章があるようにしてほしい。(中学生)
- 展示していた白書は、**ジュニア版**を置いた方が「読んでみようかな」という気になると思う。(中学生)

持ち帰りできる資料

- **持って帰れる資料が多い**のが良かった。(中学生～高校生)



体験できる展示

- 文字だけでなく、**五感に訴えかけられる展示**ができればいいと思う。例えば、農業であれば育て方によって食べ比べしてもらったり、林業であれば、道具も持ってもらうなど体験してもらったりすればよいと思う。(中学生)
- 道具など実際に**触れられる展示**があったらいいなと思った。(中学生)
- **触れる展示**もあると、幼い子にも興味を持ってもらえると思った。(中学生～高校生)
- Omと記載があるだけよりも、**実際にそのサイズの展示**があり、自分の身長と比べて見てください、などできれば良いと思う。(中学生～高校生)
- 消費者があまり思いつかないような料理を**試食でき**、その**レシピを配ってくれる**と家でも作れるので、なお良い。(中学生～高校生)



お土産

- 缶バッチ・キーホルダーは貰ったとしても、鞆につけることに抵抗を感じるかもしれない。例えば、木で作った文具など**農林水産省独自の特別感があるもの**だと良いのではないか。(高校生)
- **ペンや消しゴム**などの普段使いできるものが好ましいのではないか。学校では変わった文房具を使っていると**友達との会話に発展する**。(高校生)
- 農林水産省内の売店で**展示内容にちなんだお土産**を作ったらいいと思う。(中学生)



2. 農林水産省の業務説明について ①内容

業務内容の詳細

- 大学とかでどのようなことを学べば農林水産省に入れるのかを聞いたかった。農林水産省で働くきっかけも聞いてみたい。(高校生)
- 職員の1日のスケジュールが知りたい。(高校生)
- 農林水産省の人がどんな仕事をしているのかもう少し聞いたかった。「この部屋ではこんなことをしているよ」と聞いたかった。(高校生)
- 他の局が何をしているのかが分からなかった。関心があるので、色々な話が聞けたら良いと思った。(高校生)
- 消費・安全局以外の人にも来てもらって面白い話をしてもらえると良いと思う。遠くで働いている人の場合は、オンラインで話してもらえたらいい。(中学生)



2. 農林水産省の業務説明について ②手法

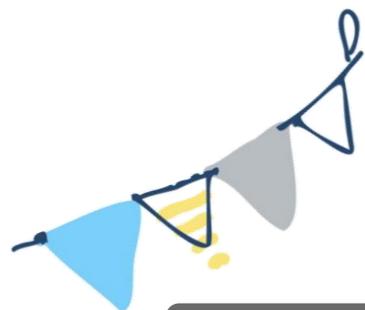
ワークショップなど

- 話を聞くだけではなく、ワークショップ形式のような感じだと良いのではないかと思った。(高校生)
- 質問コーナーがあれば良かった。(高校生)
- クイズをもっと増やしたらいいと思う。(中学生)
- 話を聞くだけではなく、各局の仕事内容を穴埋めクイズなどの形式で学べると良いと思った。(高校生)
- 業務説明の後にチェック形式のクイズを配り、それに「〇問以上正解したら景品が貰える」というようにすれば、もっと話を集中して聞いてくれると思う。(中学生)

イラストや動画の活用

- 声だけではなく、イラストと一緒に説明しており、また工夫を交えていて良かったと思う。(中学生～高校生)
- その部署が実際に仕事している風景を図や写真で示せたら良いと思う。(中学生)
- 人が話していると集中できなかつたりすることがあるので、1つの動画にまとめて紹介してくれたらよいと思う。(中学生)
- 動画の中では、実際に仕事している風景を流したり、大臣が出演したりできたらいい。(中学生)





仕事を知る機会

- **実際に仕事をしている部屋に入ってみ**たい。インタビューの時間を取ってもらうことも難しいと思うので、どんな業務をしているのか見てみたい。(中学生～高校生)
- **生で仕事をしている姿**を見たい。(中学生～高校生)
- **大臣室**に入ってみたかった。(中学生)

体験ができる機会

- **体験できる場所**があったら自分も学べるし楽しいなと思った。(高校生)
- **大臣が料理を教えてくれる**のがあったら、面白い。(中学生～高校生)

クイズ形式やツアー形式での参加機会

- 省内を回る前に、**クイズ**を出しても良いのかもしれない。例えば「大臣室の広さは？」などとクイズを出しておくことで、もっと興味を持って回ってもらえるようになるのではないかな。(高校生)
- 消費者の部屋だけで見学を終わらせず、**消費者の部屋の内容と関連した場所にも行くようなツアー形式**にしたらいと思う。(中学生)



4. 農林水産省の取組（展示内容関連）について ①広報

ポスター

- 人が多く使う駅などの場所でポスターなどを貼った方がより多くの人に知ってもらえると思う。（中学生～高校生）
- 歩いている人の視線がいく場所にポスターがあると良いと思う。在来線の改札前の階段の広告は良く目に入る。（中学生～高校生）
- 新宿駅の大型ポスターならば、高い位置にあって飛び出して見えるので、ふと目に入る気がする。（中学生～高校生）
- ポスターにSNSの中の人のネタやネットミームなどを入れれば、通りすがりの人が写真を撮ってくれて、広がるということがありそう。（中学生～高校生）

SNSの活用

- X（旧Twitter）などを使ってエンタメ性を盛り込んだ発信ができれば注目を浴びると思う。例えば、飲食店などのSNSでは、正規の食べ方ではない食べ方を紹介しており、意外性がある注目を浴びている印象がある。（中学生～高校生）
- 若者に人気の人物を使うのも良いと思う。芸人さん、YouTuberなどでも良い。（中学生～高校生）

動画作成

- デザイナーズマンションで木を使っている事例などをVlogやYouTube、インスタなどで紹介してほしい。おしゃれな動画なら見る。（中学生～高校生）
- もともとあったCMのオマージュをやってみるのはどうか。何かのパロディは親しみやすい。（中学生～高校生）



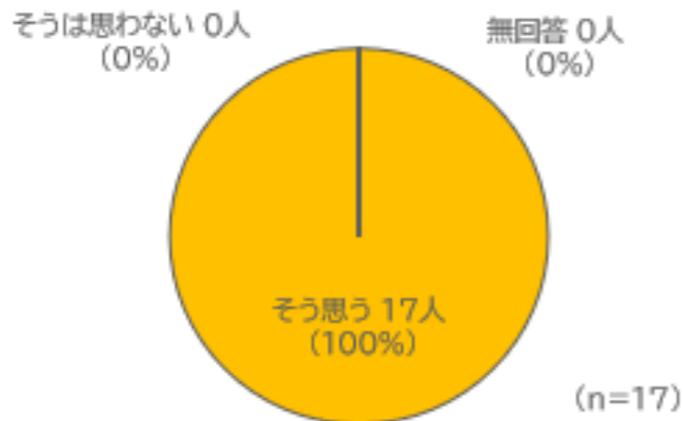
4. 農林水産省の取組（展示内容関連）について ②意識や行動が変わる情報発信

実践しやすい情報や企画

- ボランティアの情報が得られると良いと思う。農作物の収穫の手伝いなど一般人でもできるようなボランティアの情報があると嬉しい。（高校生）
- ボランティアの案内が資料に同封してあると、「じゃあ行こうかな」と思える。（高校生）
- ピンポイントにターゲットを絞った方が、狙ったターゲット層により響くと思う。（中学生～高校生）
- イベントやフェアを省内だけでなく、外部で実施すると良いのではないかと。そのほうが行きやすい。イベントや教育プログラム、インターンなどを全国で開催すれば色々な人が参加できると思う。（高校生）
- 農水訪問のお土産として植物の種とかを貰えたら育ててみようかなと思えるのではないかと。水耕栽培など手軽にできるものがある。農業をより身近に感じることができるといい。（高校生）

参加者アンケート（一部を抜粋して掲載）

「いけんひろば」に参加してよかったですか？

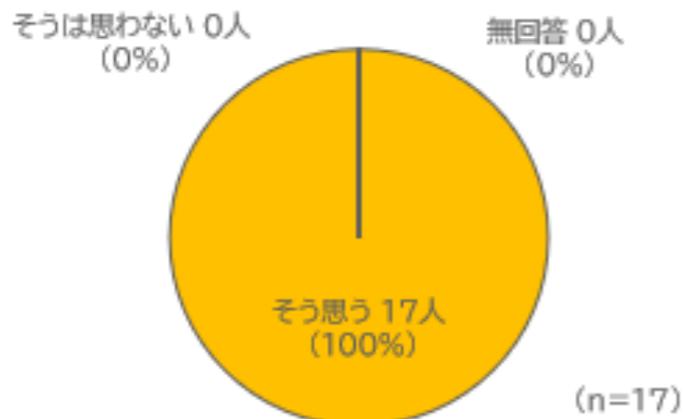


「そう思う」の理由（自由回答）

- 農林水産省の場で子供の視点から意見やアドバイスを出し、その中で自分と同じ考えの人、違う考えの人など多くの意見と交流することで自分の考えをより深められたから。
- 知らなかったことなどを詳しく知れたし、見学が楽しかったから。
- 普段、行けない農林水産省の中に入れたし、いろんな人の意見を聞くことで共感できることがたくさんあったから。



今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと（自由回答）

- 展示の見学の時間が少なく、十分に意見を出しきれなかった。
- 少し展示や説明の時間が短かったから、限られた時間で情報を得てそれについて話すのが少し難しかった。



そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

- 初めて農林水産省やその中の局などのことを知ったのでとても勉強になった。また参加したい。
- 農林水産省の中を見れて楽しかった。
- 大臣室の広さや話の中での豆知識など面白いものがたくさんあった。いろんな人の意見を聞いたり、自分の意見を言えて楽しかった。